

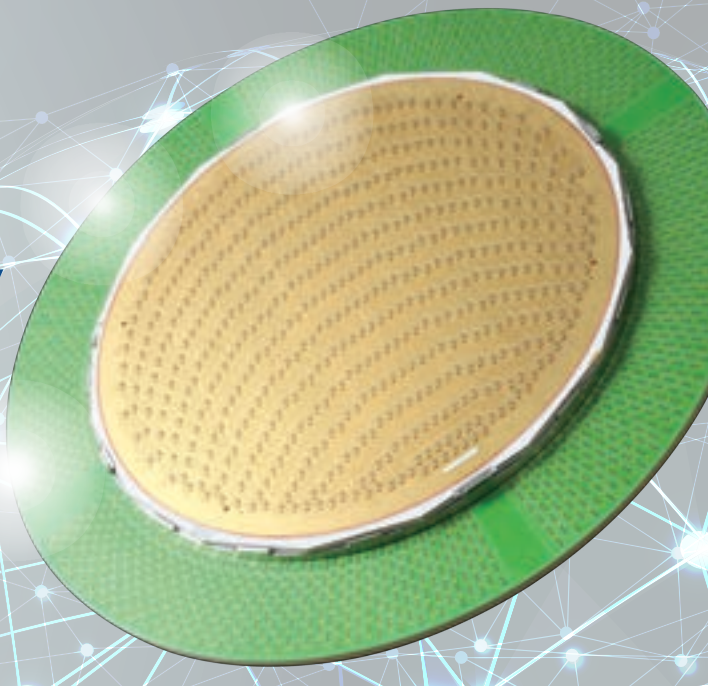
# 第59期 第2四半期のご報告

2017年4月1日～2017年9月30日

## BUSINESS REPORT JEM TODAY

JEM JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION  
日本電子材料株式会社

証券コード 6855



### トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2017年度第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の事業の概況をご報告申し上げます。

#### 事業の経過及び成果

メモリーIC向けや自動車用半導体向けを中心に拡販を進めました結果、売上面につきましては、堅調に推移したメモリーIC向けに加え、自動車用半導体向けの拡販が進んだこと等により、前年同期を上回る結果となりました。一方、利益面につきましては、原価低減を推し進めたものの、高度化する顧客要求への対応や、プロダクトミックスの変化の影響等により、前年同期を下回る結果となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高64億9千4百万円(前年同期比15.4%増)、営業損失6千5百万円(前年同期は営業利益4千1百万円)、経常損失4千万円(前年同期は経常損失5千7百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1千1百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失0百万円)となりました。

#### 株主の皆様へ

当社は、半導体市場の成長にともない、今後予想されるプローブカードの需要拡大や技術革新を見据え、設備投資や開発力の強化等の実施により、高度化する顧客要求への対応力を高める等、企業価値の向上に取り組んでおります。

2017年度の配当につきましては、足元の業績動向を踏まえ、誠に遺憾ながら、中間配当及び期末配当ともに、期初予想の1株当たり7円から5円にそれぞれ修正させて頂きました。株主の皆様には、心よりお詫び申し上げますとともに、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

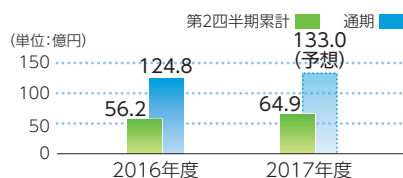
2017年12月



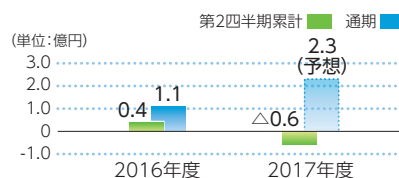
代表取締役社長 大久保 和正

### 業績の推移

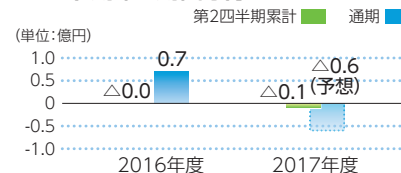
#### 売上高



#### 営業利益



#### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

# 半導体の品質を支える。

スマートフォン、自動車、サーバー等多くの製品を支えている半導体。

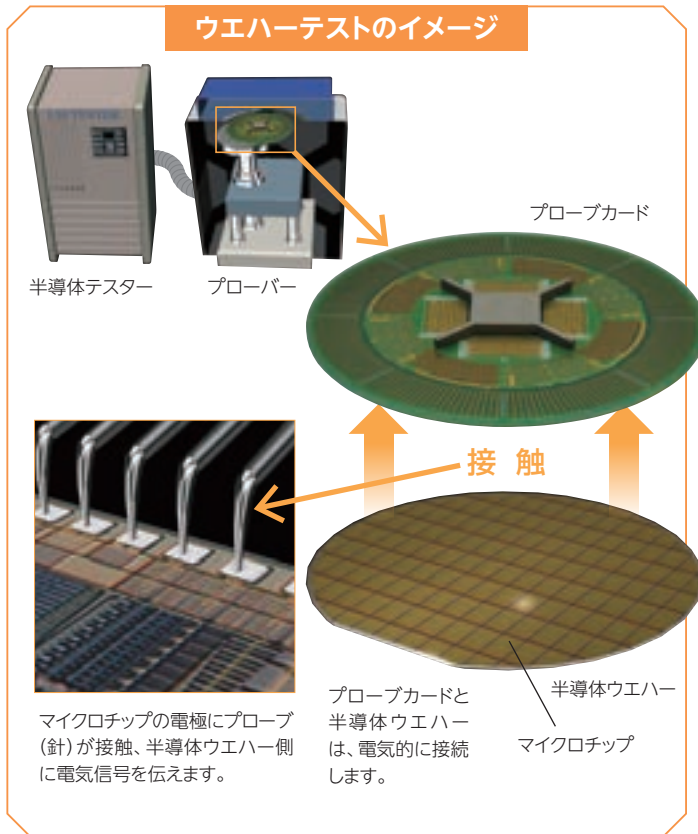
当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を行っております。

## プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。

そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大10万本以上のプローブ(針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

そのため、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。



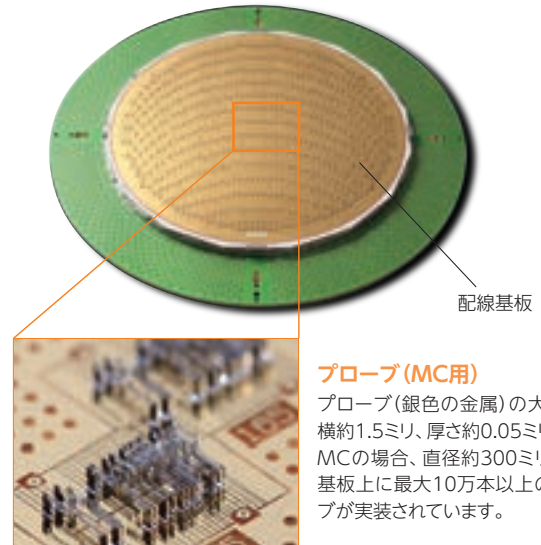
## アドバンスプローブカード(Mタイププローブカード)

半導体ウエハー上につくられたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。スマートフォンにも搭載されているDRAMやNAND型フラッシュメモリー等の検査に使われています。また、よりたくさんのプローブを搭載し高密度なプローブカードを生産するため、MタイププローブカードにはMEMSとよばれる高度な技術も用いられています。



MEMS製造(クリーンルーム)

## Mタイププローブカード(MC)



# 技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。当社は、1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。



## 世界へ広がる生産・販売拠点

● 製造及び販売拠点 ● 生産拠点



これまで、当社は先駆的に海外に生産・販売拠点を設けてまいりました。

近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、海外戦略の重要性が増しております。今後も当社は、アメリカ・中国・台湾・韓国・フランスの各拠点よりグローバルサポートを強力に推進してまいります。

## Topic

### JEMアメリカ社創業30周年

JEMアメリカ社は、1987年に日本の半導体メーカーのアメリカへの進出に合わせ、カリフォルニア州に設立しました。その後、アメリカの半導体メーカーとの取引も拡大し、現地におけるJEMブランドの浸透に寄与しました。JEMアメリカ社が拠点を構えるカリフォルニア州のシリコンバレーには、半導体をはじめ、コンピュータやIoTの関連企業、研究所が集まっており、世界におけるIT企業の一大拠点となっています。これからもJEMアメリカ社は、JEMグループの重要な拠点として成長を続けてまいります。



## 株式事項

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,604,880株
株主数	5,021名

## 大株主

(2017年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有) 大久保興産	1,266千株	11.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	656	6.19
ゴールドマンサックスインターナショナル (常任代理人:ゴールドマン・サックス証券(株))	479	4.52
大久保和正	455	4.30
日本マスタートラスト信託銀行(株)	447	4.22
大久保英正	376	3.55
(株)三菱東京UFJ銀行	309	2.91
大久保昌男	290	2.73
古山陽一	260	2.45
日本電子材料社員持株会	209	1.98

(注)持株比率は、自己株式(15,456株)を除いて計算しております。

## 役員

(2017年9月30日現在)

取締役	
代表取締役社長 社長執行役員	大久保 和正
常務取締役 常務執行役員 管理部門統括部長	足立 安孝
取締役	吉田 博之*
取締役	吉田 裕*
取締役 常勤監査等委員	竹原 克尚
取締役 監査等委員	田村 耕一*
取締役 監査等委員	濱田 幸和*

\*は社外取締役

執行役員	
副社長執行役員 営業統括部長 兼 品質統括部長	呉 泰燁
執行役員 生産統括部長 兼 営業統括副統括部長	大澤 茂巳
執行役員 本社MEMS工場長	森 隆一郎
執行役員 開発&MEMS統括部長	坂田 輝久

## 会社概要

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	983,100千円
事業内容	●半導体検査用部品の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所市場第1部
証券コード	6855

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。当社の公告掲載URLは次のとおりです。 <a href="http://www.jem-net.co.jp/">http://www.jem-net.co.jp/</a>

- (注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に登録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。